

一級河川鳴瀬川水系 吉田川

[大臣管理区間]

床上浸水対策特別緊急事業

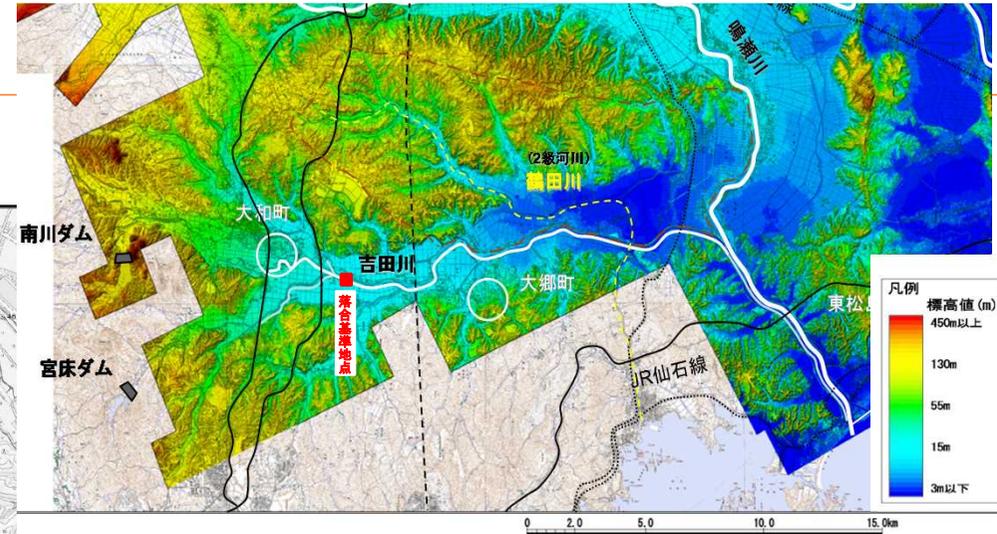
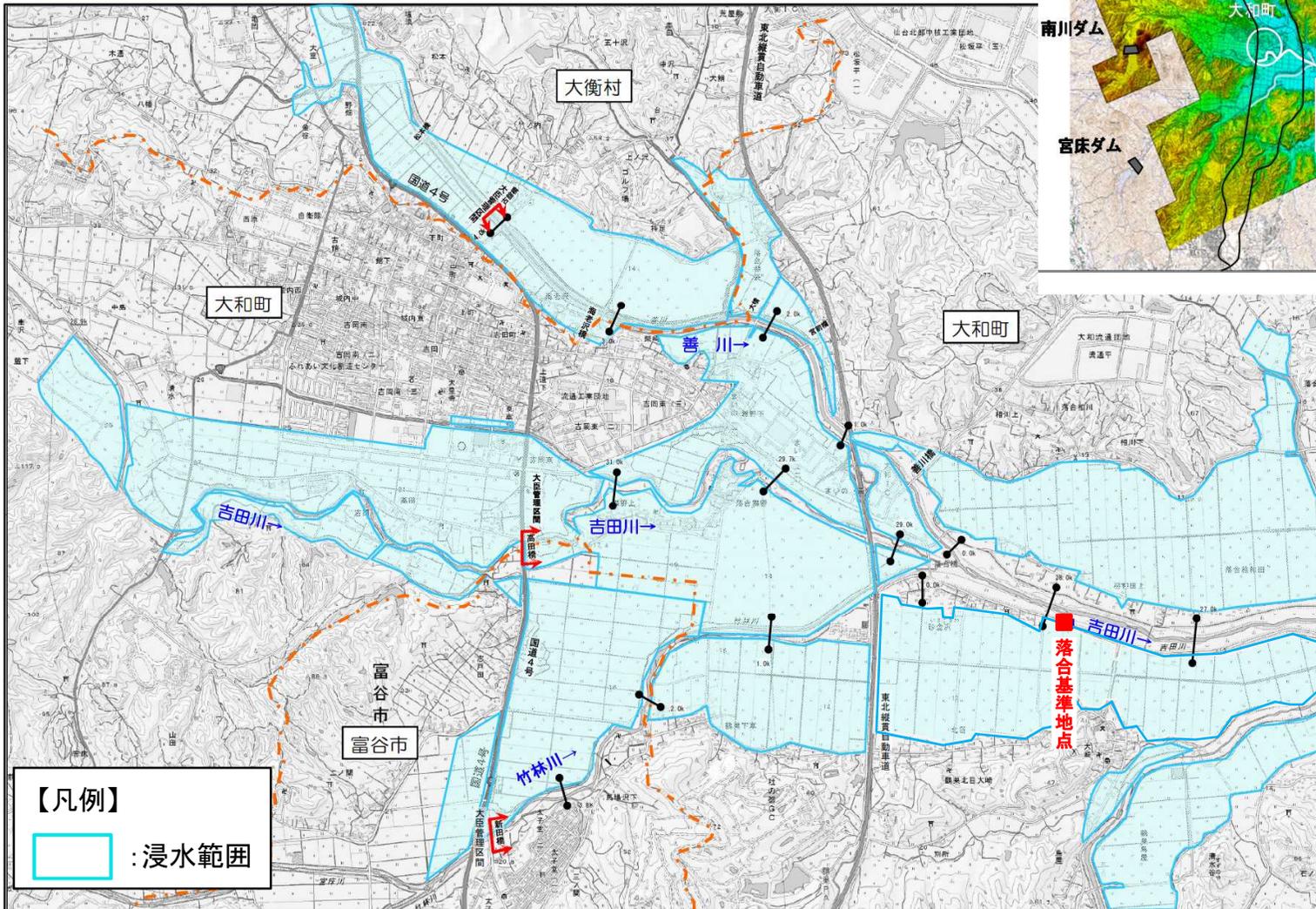
事業経過報告

令和6年1月13日

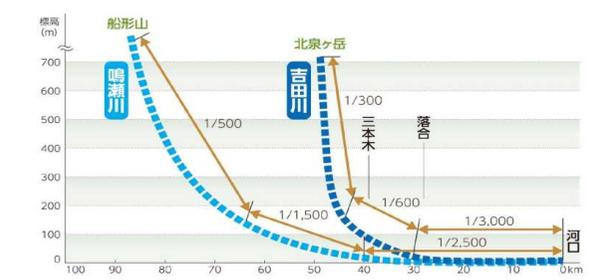
東北地方整備局 北上川下流河川事務所

- 吉田川では、約20kmの区間でHWLを超過し、越水が5箇所が発生し、吉田川上流の三川合流より上流では溢水が発生
- 吉田川本川および支川が越水・溢水し、吉田川上中流部において床上164戸・床下171戸、浸水面積は約1,700haの浸水被害が発生

被害状況

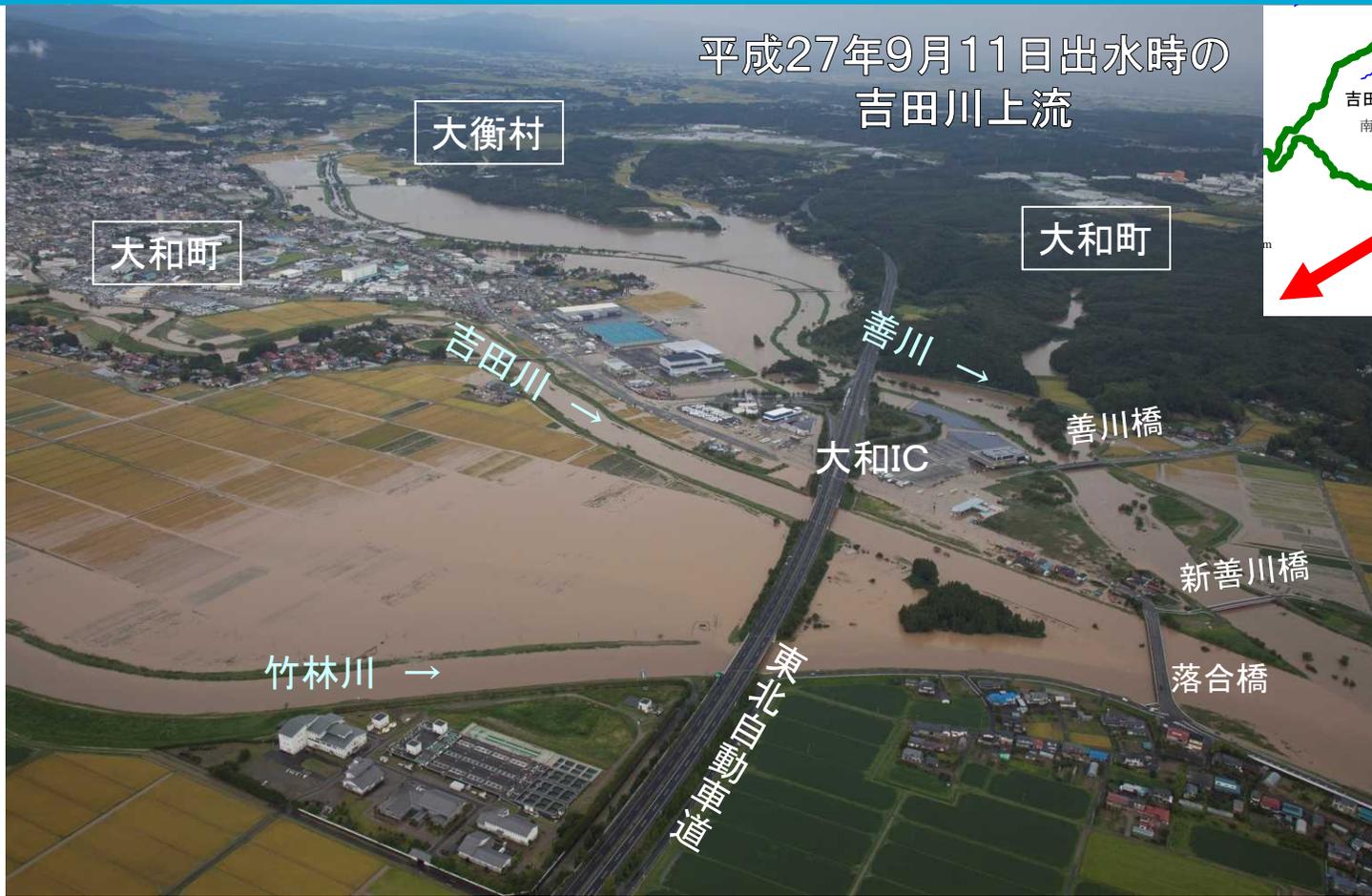


河床縦断面図（鳴瀬川・吉田川）



洪水発生年	落合地点		被害状況
	流域平均 2日雨量 (mm)	最大流量 (m ³ /s)	
昭和61年8月	289	約1,190	床上浸水：外水1,056戸、内水67戸 床下浸水：外水503戸、内水105戸 氾濫面積：外水約50ha、内水約10ha
平成14年7月	211	約1,000	床上浸水：外水1戸、内水3戸 床下浸水：外水17戸、内水66戸 氾濫面積：外水約10ha、内水約820ha
平成21年8月	186	約560	床下浸水：5戸 氾濫面積：約1ha
平成23年9月	280	約990	床上浸水：内水1戸 床下浸水：外水7戸、内水3戸 氾濫面積：外水約30ha、内水約2,100ha
平成27年9月	324	約1,670	床上浸水：164戸 床下浸水：171戸 浸水面積：約1,700ha

※浸水戸数は県管理区間を含む



平成27年9月11日出水時の
吉田川上流



大和IC付近の浸水
(大和町広報誌「広報たいわ」より)



緊急車両が身動きとれず



住宅地の冠水
(大和町広報誌「広報たいわ」より)



幹線道路の浸水状況
(大和町広報誌「広報たいわ」より)



商業店舗の浸水状況
(国土交通省撮影)

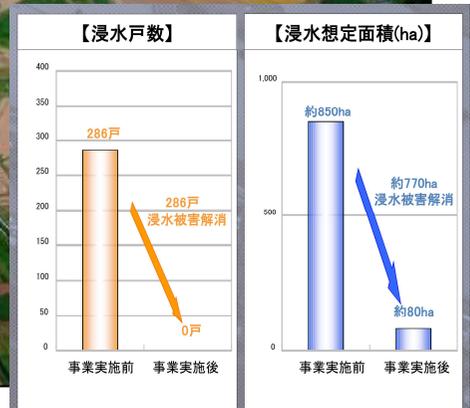
吉田川床上浸水対策特別緊急事業の概要

【国土交通省】

事業内容:遊水地群の整備、河道掘削・築堤
 総事業費:128億円
 事業期間:平成29年度～令和4年度

【宮城県】

事業内容:河道掘削、築堤
 総事業費:71億円
 事業期間:平成29年度～令和5年度



吉田川河道掘削・築堤 完成状況

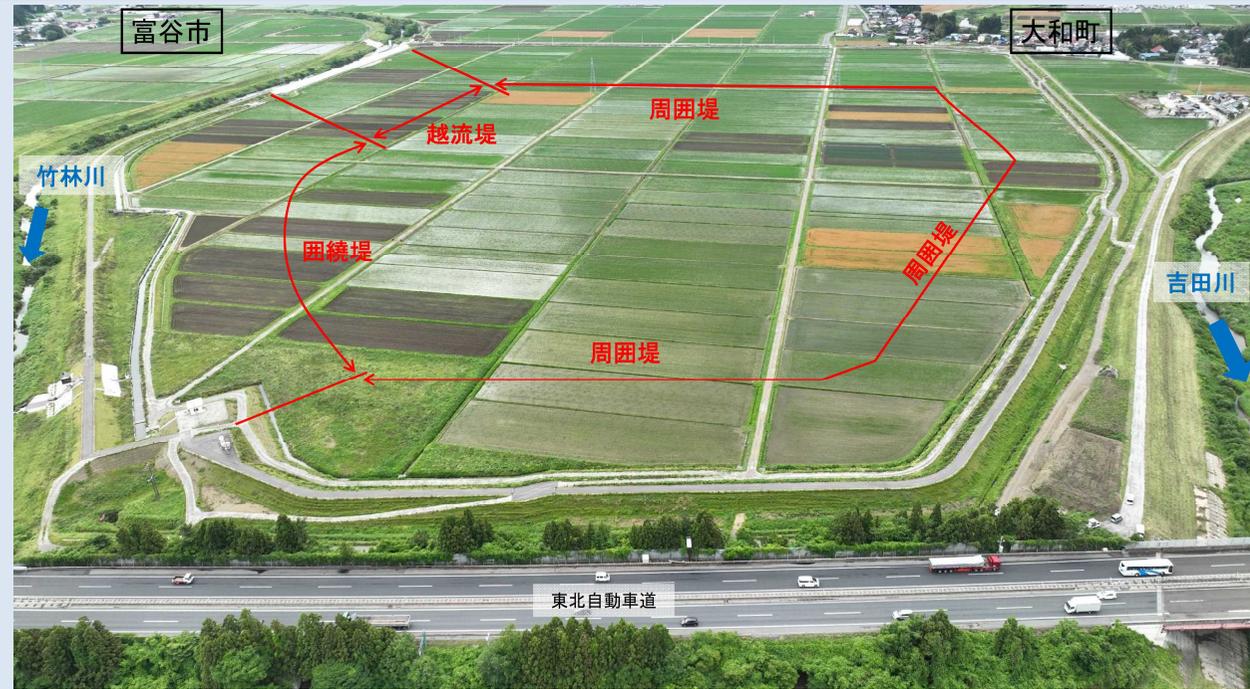


竹林川遊水地

- ・令和4年6月末 完成
- ・令和4年7月 運用開始

【遊水地諸元】

- ・湛水面積 $A \approx 60\text{ha}$
- ・湛水容量 $V \approx 62\text{万m}^3$
- ※小学校プール: 約1,290杯分
($25\text{m} \times 16\text{m} \times 1.2\text{m}$)



善川遊水地

- ・令和5年3月末 完成
- ・令和5年4月 運用開始

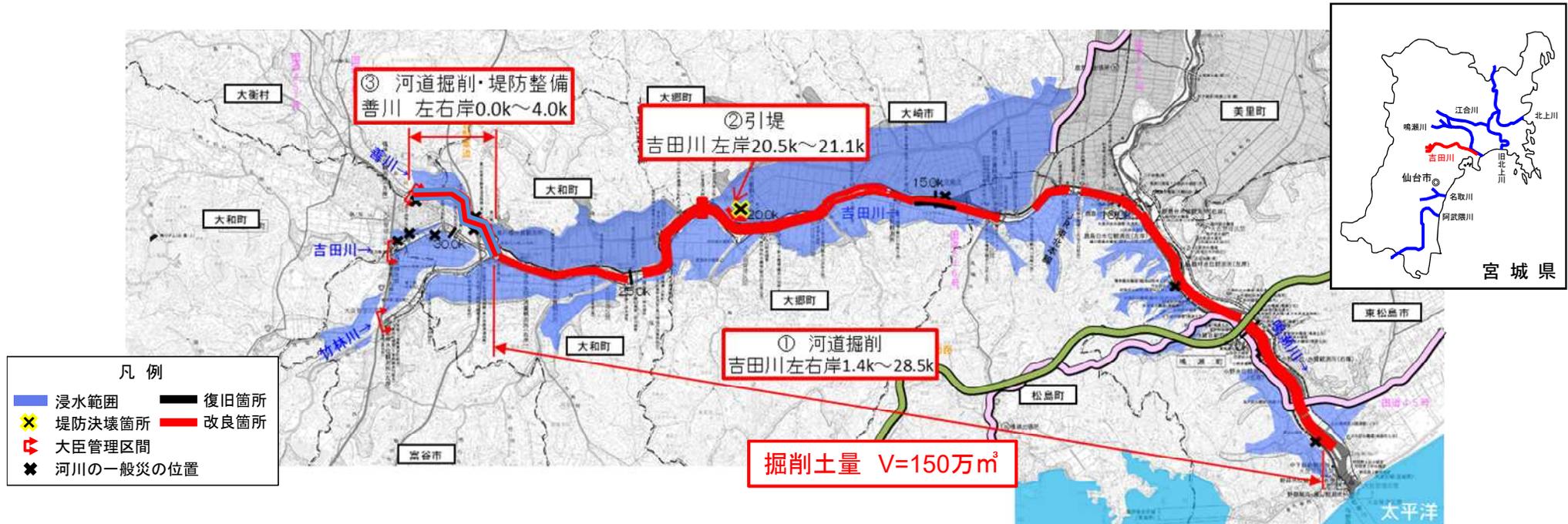
【遊水地諸元】

- ・湛水面積 $A \approx 56\text{ha}$
- ・湛水容量 $V \approx 195\text{万m}^3$
- ※小学校プール: 約4,060杯分
($25\text{m} \times 16\text{m} \times 1.2\text{m}$)



○令和元年台風19号と同規模の洪水時に対し、堤防満杯(HWL超過)で越水させない対策として、河道掘削及び堤防整備を行う。

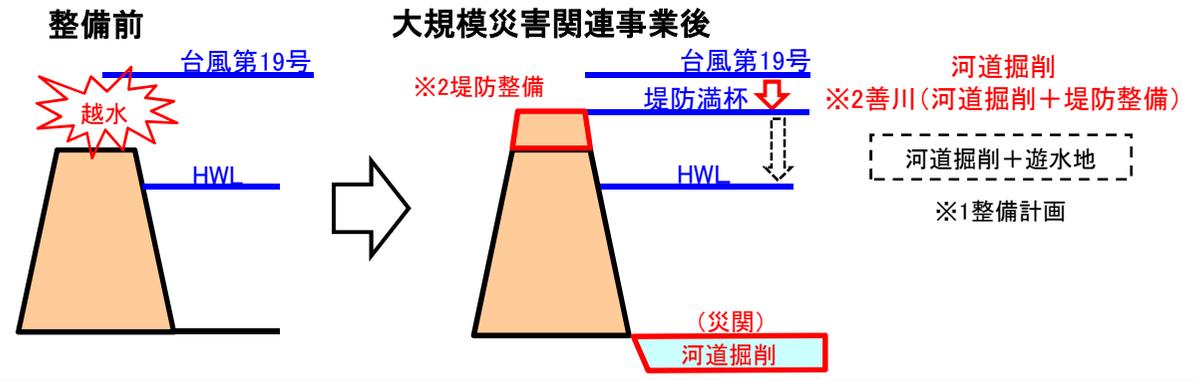
- ・決壊による被害が生じた1地区に於いて流下能力向上のため、堤防(引堤)整備を実施
- ・HWL超過した水位を下げる対策として、河道掘削を実施
- ・令和6年3月31日で、河道掘削進捗率(事業費)は約71%の見込み



□大規模災害関連事業の整備目標

令和元年台風19号と同規模の洪水時に対し堤防満杯(HWL超過)で越水させない対策として河道掘削及び堤防整備(善川)を行う。

※1HWL以下への流下対策は整備計画(河道掘削+遊水池整備)



特定都市河川・特定都市河川流域図



鳴瀬川水系吉田川等・高城川水系高城川等の特定都市河川指定による流域水害対策の推進に向けた確認書調印式



	鳴瀬川水系吉田川等	高城川水系高城川等
流域面積	350km ²	120km ²
指定河川	吉田川、堤川、味明川、滑川、身洗川、五輪沢川、苗代沢川、西川、小西川、明石川、長柴川、板坂川、善川、奥田川、荒屋敷川、埋川、沓掛川、焼切川、榎田川、竹林川、宮床川、小野川、明通川、洞堀川、南川、荻ヶ倉川 [計26河川]	高城川、新川、田中川、穴川、鶴田川、広長川、深谷川、大迫川、小迫川、新堀川 [計10河川]

地域を“みず”から守る。
“流域治水”

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



- 吉田川・高城川流域の流域水害対策計画は、従来の河川・下水道のほか、上流域を中心とした森林保全関係者、ため池・水田貯留などの農業関係者、避難路として機能する道路管理者、工業団地の進出企業、地域住民などあらゆる関係者が一つとなり、協働で地域を“みず”から守り流域全体の持続的発展を目指すもの。
- 現在、自治会等の地域団体、農業関係法人、工業団地内の企業、森林保全に取り組む民間企業などを中心に、流域治水への継続支援に関する訪問説明を展開中。
- 今後も各自治体と協働であらゆる関係者への“流域治水への理解度向上”に努めていく。

『わたしたちの森づくり事業』
(宮城県)

森林整備への参画を希望する団体に対し、県有林の命名権を譲渡し、地球温暖化対策とした森林整備を推進

【カメイ株式会社】(カメイの森:大和町)



【トヨタ紡織東北株式会社】
(トヨタ紡織グループ『環境の森』大衡)



【三菱電機株式会社東北支社】(大和町)



上流域における山林の保水能力保全の取り組み



仙台北部工業団地内企業への説明



「ミドリアート山崎」との勉強会



「農事組合法人 天神ファーム」との勉強会



流域水害対策協議会実務者会議



【流域治水の推進に向けて】

- ＜行政側の取組施策案＞
- 河川整備
 - 下水道(雨水)整備
 - 国営総合農地防災事業
 - 水田貯留(田んぼダム)
 - 農業用排水施設の遠隔化
 - ため池の活用
 - 雨水貯留浸透施設整備
 - 既存道路の嵩上げ検討
 - 既存防災調整池の保水遊水機能の保全
 - 土地利用・住まい方の工夫
 - 貯留機能保全区域の設定方針
 - 雨水浸透阻害行為の許可
 - ソフト対策関係の強化
 - 命と生業を守る流域のサポート施策



地域住民や企業も協働で参加する取組施策



地元住民の皆様、関係機関並びに施工業者の皆様
御理解・御協力頂きありがとうございました。